

いちい街なか店閉店

「福島駅前に貢献できた」



シャッターが下りる店舗入り口で
頭を下げるいちいの従業員ら

＝28日午後7時ごろ、福島市

福島市で旧中合福島店の
空きビルを期間限定で活用
して開店した「福島市街な
か交流館」が28日閉館し、
1階のスーパーいちい街な
か店が約1年3カ月の営業
を終了した。福島駅東口の
再開発に伴い新年度からは
ビルの解体工事が始まるこ
とから、最終日は多くの市
民が詰め掛けた。

2020（令和2）年8
月末に中合福島店が閉店
し、空洞化が懸念された中
心市街地のにぎわい回復に

向け、20年12月に交流館が
オープンした。いちいは計
15回の物産展を開き、物産
展以外にも含めた来店客数は
延べ約28万人に上った。

いちいは中合のテナント
に入っていた時代があり、
閉店を迎えて伊藤信弘社長
は「恩返し的气持ちもあっ
て出店した。駅前の灯を消
さないための貢献が少しだ
けできた」と話した。ビル
のシャッターが下りる瞬間
は来店客が見守る中、伊藤
社長や木幡浩市長らが頭を

下げた。

再開発では3棟のビルが
建設される。中核となる複
合棟は地上12階建て（高さ
約59㍎）で、商業施設やホ
テル、市の大ホール、オフ
イスなどが入る。オープン
は2026年の予定。